

平成 27 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	十枝の森自然環境保全活動	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	十枝の森を守る会	生涯学習課

事業費	当初予算額	決算額	市補助金額（交付決定額）
	332,000円	328,036円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、

○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

- ① 当会では 24 年度より、この森は、両総地域に大穀倉地滞を出現させた偉人、雄三翁の屋敷跡であり、地域住民の安寧を願った翁の事業に鑑み、十枝家の屋敷跡の風格を残して、市民の癒しの空間として森を保存することは、先人の偉人に敬意を表すことであり、本市が誇れる観光地となり得るものと信じて活動してきています。
この基本姿勢の範囲内で今後も森の全ての活動を行っていきます。
- ② 協働事業 2 ヶ年を経過しましたが、従来からの月 2 回の定期作業では、竹や雑木の多い森の中で、大木や樹木の生き活きとした森の環境復活には時間が足りないほどであった。それでも徐々に文化団体やデーサーブス等の活用、一般市民の知名度が上がるにつれ、この森の保存の重要性が理解されるにつれ、見回り隊と共に当会員も定期作業日以外も献身的に作業に来るようになりました。
- ③ 雨や嵐により森の環境は変わります。癒しを求める老人の訪問が多く、予期せぬ怪我也も生じかねません。冬の季節に森の環境を整備して、夏場の倒木などで怪我のないよう 12 月～3 月までの整備作業が重要であります。
- ④ 森の出入り自由な為、いろいろな人が出入りしますが、当会の森の管理活動を理解している方が多くなり、来客も礼儀正しく、秩序正しく散策して頂けています
- ⑤ 当会は当初より①の基本姿勢で森の整備をしてきましたが、懸命な活動が市民に理解されなければ、雄三翁の偉業の伝承も、観光地にもなり得ません。過去の枯木の残材など整備未完成の中で、音楽会が 7 回開催され、過去 3 年間の定期イベントの開催等により知名度も上がってきています。4 年継続の 12 月の「イロハ紅葉祭」は、音楽士の自発参加で歌や踊りを楽しみながら、森の畑で生産の里芋(芋煮会)で食事の出来る癒しの 1 日で、市民には無料サービスのところ「緑の基金箱」には、食材経費を超える献金がありました。この事は、この森の保存の重要性と当会の活動が認知されてきた結果と思え、今後の会員の活動にパワーを頂いたものです。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
森内の協働については、新たに自然体験塾(武井塾長)を本会内に作り、管理作業とは別箇に協働事業の計画を立て担当課と打ち合わせの上広報活動で行動した。いまいち、魅力ある企画を要す。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、会議等の開催及び一部連絡調整や指導など ・事業に伴う広報活動 ・配布資料のコピー ・学習事業実施の際の受付や写真撮影など

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 新規設立の自然体験塾でこの森の中でエコ活動推進を図る事は、森の空気に触れるだけで市民の健康増進にもなり、森の宣伝にもなる事で適正ではあるが、雨天中止が多かった点は今後の課題である。	<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由)

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

	当初の計画	実 績
1	5月24日(日) ・体験用サツマイモ植講習会	参加者子供5名、大人8名
2	7月26日(日)、 ・夏野菜収穫で市民との学習会	雨天中止
3	8月17、28日 ・学習課との会議	学習課会議室
4	8月30日 ・カボチャの収穫	子供3名、参加者 大人7名
5	10月11日 ・第2回目 サツマイモ掘り	雨天中止
6	10月12日 音楽会の森の観察会	写真添付
7	11月8日	雨天中止

・農作業講習(刈払機)	
-------------	--

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった (理由) 当会は森の管理作業が最大の協働事業と考えておりますが、森内での学習は、新規の自然体験塾の試みとしての企画であります。熟の体制強化の必要あり。 森内の事業スケジュールは天候に左右されるものであり、雨天中止に対する備え不足であった。土曜の設定で雨天は翌日などの日程の検討を要する点、雨天時の対策は 28 年度の喫緊の課題である。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

<ul style="list-style-type: none"> ・森内の管理作業は肉体労働もあり、作業用具が完備されて居なければ会員のヤル気に支障が出るものであります。従って今期は、常用の不足備品を揃えました。 ・また、両総用水の起点からの会員研修視察により、雄三翁の偉業を認識し、森の保存活動の必要性を会員が理解出来た事は、会の団結に大きな力になっています。 ・会員のスキルアップを踏まえ、作業後の茶話会では雄三翁が自己犠牲で借財を重ねても実現させた用水事業や澄子さんから寄贈されるまでの歴史的経緯をたびたび会員に説明してきたかいてもあって、中途半端な気持ちで参加していた会員が洗浄され、本市の歴史的遺産としての永久保存に献身的に奉仕する会員が固定してきた。 ・24 年度から 3 年間の森の定期作業に常時出席する不動の会員は現在男女 10 名おります。この献身的不動の正会員構成が当会の念願としていた組織です。 ・今後この献身的会員による行き届いた管理作業が必ずや市民に「癒しの森」として認知され、偉人の歴史的遺産として誇れる市有財産にしたいと考えています。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) ・自然環境は人間の適度な関与によって適正な環境が維持できるもので、毎年途切れることなく継続する事が最も大切な事です。 ・十枝の森は、数百年の大木が存在する樹木の豊富な自然環境の市有不動産で、しかも本市の偉人の事業により恩恵を受けてきた屋敷跡の管理であり、この森の保存活動に参加できる喜びを会員が理解してきた結果、過去に自然体験のある会員も実力を積極的に発揮するようになり、これまでの管理状況にはないスピードアップされた効果が出てきました。 ・この事で今後は余裕をもって種々の企画も考えられるので、ソフト面の広報面に力を注入し、森の知名度の向上に努めてまいります。更に、今後は若者の森の保存継承会員の募集にも力がはかります。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

【団 体】
<p>自然の樹木や花などの管理は日頃直接自然環境に携わっていないと解らない事ばかりですが、この森のように過去 2～30 年の間手入れされていない森は、特に良好な日当たりと風通りがないと大木は枯れていく運命にあります。人間社会の行政職員と森の自然界に馴染んでいる当会員との間には森の管理上温度差がありましたが、2ヶ年の協働でこの森の保存活動で自然の営みが理解できたことは、当会員にも行政職員にとっても有意義な事です。</p> <p>人間社会で日常の多忙業務に携わる職員は、人間界で必要な知識に自然界の摂理を学べれば、偏らない人間形成に役立つ筈です。人事異動で短い期間であっても職員にはこの森に関与した経験を活かして頂きたいものです。</p> <p>人間は自然に保護されているもので、自然を保存できても保護できるものではありません。人間社会の成功者は自然の営みを理解できる人が圧倒的に多いのです。自然環境を人間の好みに保存するには、人間の適度な介入を継続する必要があります。自然界に携わらないで人間社会の目線で自然環境の保存はできません。市職員の教育には当会の定期作業に参加することで、自然の摂理を理解できる人格形成に役立つはず。期待される新人職員の教育に、ご一考下さい・・・。</p>

【市】

当該協働事業は、森の適正な管理を行うとともに、森での学習体験活動などを通じて、森の認知度を上げることを目的としております。さらにこの森の以前の所有者で両総用水建設に功績のありました十枝雄三氏の功績の周知を図ります。

昨年における事業は、毎月2回の森の維持管理を実施し、十枝の森でグリーンアドバイザーによる接木講習や畑地を利用したサツマイモ栽培に伴う植物の育成学習、12月の紅葉祭などを実施しました。また、雄三氏の功績を学ぶため、両総用水事業の視察研修を実施し、一定の事業効果が得られたものと考えられます。

また管理された森を舞台に、他団体における水彩画教室や音楽祭、笑いヨガ事業の実施が行われており、広い範囲での活用が見受けられるようになりました。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<p><input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) この森は、偉人の遺産であり保存は当然であったが、協働になったところで行政に対しても責任ある姿勢で活動するようになった事が大。会員の来客対応の姿勢、来客の「ご苦労さん」と言う挨拶を聞くたびに協働の効果大を感じる。 評価 80 点。献身的会員が誕生してきたことは市有財産を守り抜ける基礎が出来た点。</p>	<p><input type="checkbox"/> 効果があった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)</p>